

備前市事務事業評価表

事務事業名	在宅心身障害児（者）自立促進事業		コード	担当課係	吉永市民福祉課 福祉係
			02-01-03-13	担当者	吉田 修
事業実施期間	平成11年度～		電話	(0869)84-2518	
総合計画 事業（政策）体系	大項目	健康でやさしさあふれるまちづくり			
	中項目	やさしさあふれるまちづくり			
	小項目	障害者（児）福祉			
	施策	社会参加の促進			

事業について	
目的	心身障害児（者）の社会参加を促進し、働くことの喜びを実感してもらい、生きがいを持って生活できる社会の構築を目指すもの。
対象（誰のために）	吉永地域の心身障害児（者）
内容	作業所の運営の安定化を図るため、補助金交付等を行う。

事業の結果				
実施項目	17年度			
	回数など	回数など	回数など	回数など
通所者数	9人			

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	3,675	国庫補助金等	1,836	直接事業費		国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	1,850	受益者負担		人件費		受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	5,525	一般財源等	3,689	合計	0	一般財源等	0	合計	0	一般財源等	0

必要人員	0.20	人			
結果指標①	結果指標名	作業所通所者数			
	結果指標量	9			
	単位	人			
	対前年比	—		0.00%	
	事業費	5,524,959	円		
	単当たりコスト①	613,884	円		

結果指標②	結果指標名				
	結果指標量				
	単位				
	対前年比	—			
	事業費		円		円
	単当たりコスト②		円		円

事業の成果			
成果指標名	作業所利用率	式又は説明	作業所通所者数/定員（12人）
成果指標量	17年度 75.0%		
対前年比	—	0.00%	
到達目標値	100%	到達目標年度	平成25年度

事務事業の評価		(平成17年度事業)
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等：
	対象の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている

総合評価	
コメント	事業を継続するため、NPO法人の設立を考えると伴に通所者数を増やす必要がある。 評価区分 <A~E> C

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合		
翌年度結果指標量①	10人	結果指標量②	
目標値	成果指標量	83.3%	

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	NPO法人の設立	早期に	作業所の独自性が図られ、市の財源の増加が抑えられる。
有効性	通所者数の増加	随時	心身障害者の自立促進が図られる。

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。